



【ものづくり 人づくり 地域づくり】

未曾有の豪雨

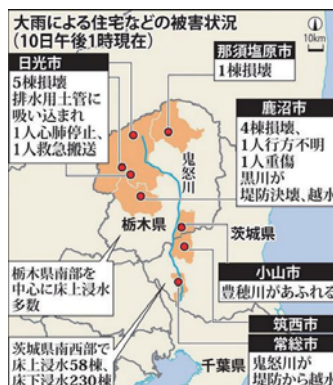
— 鬼怒川が決壊 —

組合員のみなさん、大丈夫でしたでしょうか？
生協本部（守谷市）は大丈夫でした。被災産地には、
明日 11 日（金）職員が現地に飛びます。（9/10 現在）



常総市で決壊した鬼怒川（上）、冠水した石下駅（右）

常総市の「めぐみちゃん」の新米は浸水の可能性・・・
10日夜半には宮城県に大雨特別警報が・・・



【速報1】 台風18号水害、被害状況 (9/11 現在)

【生協】本部配送センターは守谷市で水害なし。新築の排水設計の検証（雨水升は溢水状態）。

29年前の小貝川決壊は1日遅れでの増水だったことから、生協では9/10日から9/11早朝にかけて栃木から集まる鬼怒川水位（テレメータ水位 / 水海道観測所）・小貝川水位、群馬から集まる利根川水位（ライブカメラ）モニタリング監視体制で警戒。10日昼常総市（旧石下地区）で鬼怒川決壊。水海道地区の水位は9/10夜から上昇、9/11朝3時くらいに避難判断水位6mに。

【組合員】9/11朝より常総市の水海道地区の組合員を中心にTEL安否確認（電話不通により全員とは連絡とれず）。常総市旧水海道市街の組合員の多くは避難所に避難。坂東市は大丈夫。

【生産者】9/11朝より常総市ほかの産地現地に職員入る。

- ・常総市東町のお米「めぐみちゃん」生産者のところも朝から増水はじまり、浸水により堤防に避難中。取り残された方はヘリコプターで救助中。めぐみちゃんの田も冠水。新米刈り取りは半分ほど残っている。イネは穂の下まで浸水中、一部稲穂まで水に浸かっている。精米センターは道路冠水で近づけず（写真）
- ・常総市鬼怒川西側（大野郷）の浅野さん、石川さんらのところは浸水なし。坂東市の清水農園も大丈夫。
- ・結城市の稲葉さんのナスは畑冠水で入れない。筑西市の小松菜も畑冠水で向こう1ヶ月は出荷見通したず。

鬼怒川が決壊した常総市石下地区
※すぐ近くに組合員さん宅ありましたが避難して無事とのこと

↑お米の生産者の自宅がある東町。ヘリコプターが取り残された人を救助中。生産者の多くは小貝川堤防に避難して集まっていた。(9/11朝10時すぎ 横関)

〇「めぐみちゃん」産地の常総市東町地域だけ完全水没せず！生産者も無事。
まわりの地域に比べると東町は水没を免れています。周囲の田んぼはほぼ完全水没。刈り取ったばかりの玄米および精米したお米は精米センターの中で水に浸かった可能性あり。まだ状況把握できず。新米出荷は延期。

↑新米精米中のJA常総ひかり精米センターは完全に水没。近づけなかった。

〇常総生協の組合員が多くいる水海道市街地区。1F、浸水(床上・床下)で多くの組合員は避難所へ避難中。

↑村中。生産者の尾故島さん宅前の道。生産者はじめ村の人たちは避難してもう誰もいなかった(11時半、水に浸かりながら村に入る。矢島)

わたしたちのおコメの一部も水に浸かっていた。(↑↓)

小貝川堤防を降りて南から東町を望む(9/10 10時半 横関)

常総生協本部はさらに南部だったことから大丈夫でした。

9/6 福島第一原発沖「海洋調査」(たらちね+高木基金+常総生協)

福島第一原発、雨で汚染水垂れ流し、K排水路からの放出は今年で7回目
福島第一原発沖1kmの海洋調査に行ってきました。



汚染水垂れ流しの福島第一原発。

9月6日(日)、放射能調査をいっしょにすすめている、いわき市民放射能測定室たらちね+高木基金+常総生協総勢15名で、海上保安庁に届け出のうえ、漁協の協力を得て漁船を出して頂き、福島第一原発1km沖合で第1回目の「海洋調査」を実施しました。

東大名誉教授(元東大附属水産実験所)の鈴木謙先生が同乗して海水採種、プランクトン採種、底土採種(これは失敗)、魚を釣って船上で魚の血液採取をおこないました。

海水やプランクトンのセシウム、ストロンチウム、魚の白血球数の様子などは測定結果が出しだい報告します。今後、真冬を除き月1回程度の海洋調査を行う予定ですので、海釣りが得意な方がいましたらごいっしょにしませんか。生協までご連絡ください。

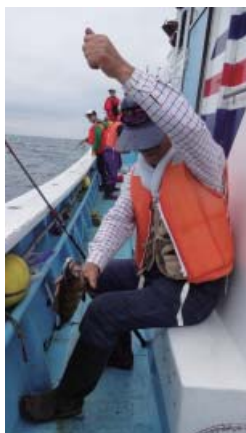


←鈴木先生

魚の背骨にくっつくように腎臓がありそこを通過する血液の白血球が、背骨に取り込まれたストロンチウムの放射線で影響を受けているかどうかを調べる。

採血した魚の血液を200倍に希釈してメッシュのプレパラートで顕微鏡でまず赤血球数をカウントしてゆく。そのあと白血球の種類と数を検査する。

※魚の赤血球には核があるため機械ではカウントできないため(赤血球の核がないのは哺乳類だけ。進化の過程で核をなくしているとのこと)。



釣り上げたメバルをすぐに尾部から血液を採取。
(エラ部からの採取は出血が止まらなくなるため)



竿をたれる生協の横関くん

新人職員、頑張ってます！ 組合員さんからも紹介頂き、幸先よいスタート！

秋の仲間づくり重点月間がスタートです(9-11月)。40周年を迎える秋、生協あげでの仲間づくりをよろしくをお願いします！

初週の8/31～9/4は、加入7名、再開12名、脱退2名・休眠3名と幸先よいスタートを切りました。特に新人職員さんが頑張りました。組合員さんからの紹介も頂きました。

今週は新人職員のがんばりをお伝えします。

○伊原くん「ヤッター！」初加入

栃木県那須塩原での関東子ども基金の甲状腺検診にお手伝いに来てくれたことで茨城の常総生協に7月下旬より正職員として入協することとなった伊原君。

1ヶ月の研修を経て、いよいよ地域の戸別訪問へ。はじめての加入を得て「ヤッター」と。



英文科だったばかりに、英語の論文の翻訳を課される伊原君。

論文は7月にNatureに発表された、常総生協の母乳調査データをもとにした甲状腺等価線量解析の科学レポート。

「先日訪問したお宅の方から連絡があり加入していただけるという話を聞いた時に思わず両腕を上げて「ヤッター！！」と叫び、泣いてしまいました。加入説明当日、約束の15分前くらいから戸別を止め、車の中で加入のしおりと加入用紙の書き方をチェックして、加入していただける人の自宅に向かいました。

今までと違う緊張感に遭遇し、加入の説明がカミカミになってしまいましたが、丁寧にお話をしました。車に戻り、記入いた



さんま料理をチームで作る組織チーム



だいた用紙にどこかミスがないかチェックをしていた時に喜びのあまり、また涙がポロリ(笑)これは現実なのだと再認識しました。

まだまだ勉強不足ではありますが、これからも新しい仲間を増やしていくため、地域に常総生協の想いを伝えてゆきたいと思えます！」

○供給の新人職員、宮部くん、滝本くんは、早くも2件ずつの紹介加入をあげてきました！組合員さんありがとう！



宮部くん



滝本くん